

大東市産業振興ビジョン別冊資料集

データで見る

大東市産業の現状と課題

平成 19 年 2 月

大東市産業振興ビジョン策定委員会・ワーキングチーム

《はじめに》

この資料集は「大東市産業振興ビジョン」を策定する過程で作成したデータを整理しなおしたものです。

「振興ビジョン」自体は、コンパクトな分量にする関係で、図表をかなり大幅に割愛しました。そのために、結論が見えても「そこに至る経過やバックデータをもう少し知りたい」と感じるところがあると思います。そんな時にこの資料集を参考にしてください。

データは、公表されている各種統計データの大東市関連をまとめたものの他、関係市民にアンケートをとったもの、また大東市の行政資料から新たに作成したものから成り立っています。

編集は次のような方針で行いました。

- ・ できるだけグラフを主体にする
- ・ 詳細が必要なとき、グラフ化がむずかしいときは表にする
- ・ ビジョンの章・節に合わせて並べる
- ・ 見出しと図表で表現し、簡単なコメントで補足する

つまり、データ集を見ながら大東市産業の現状と課題のあらましがイメージ化できるようにと考えています。ただし掲載したデータが何を語るのかという分析はしていませんので、そちらはビジョン本文と照合してください。

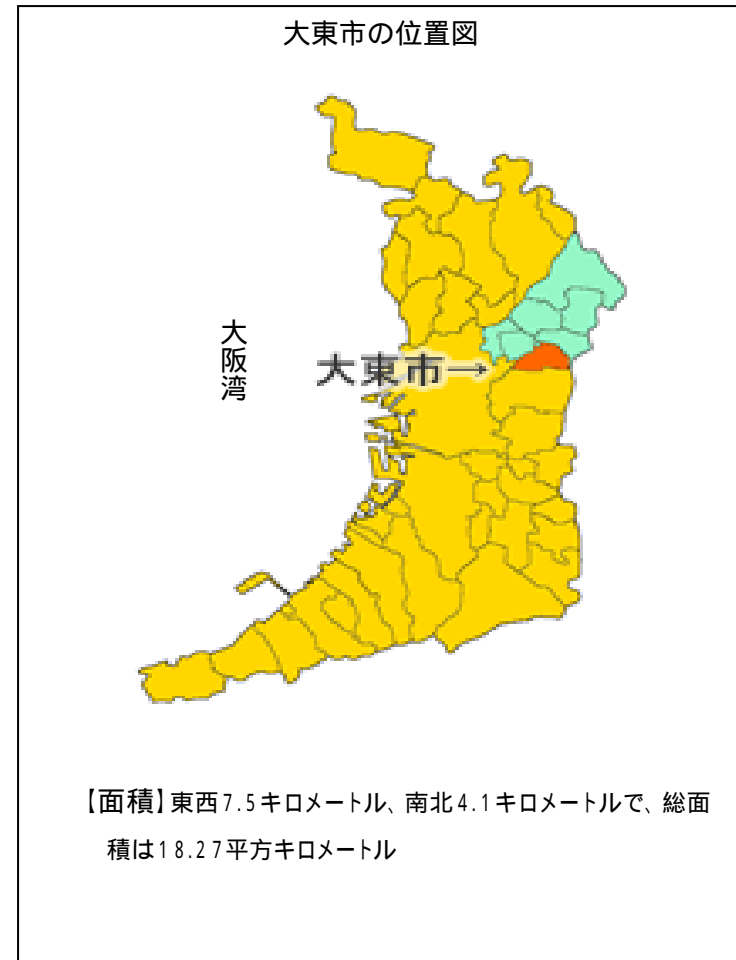
大東市産業振興ビジョンの考察に活用していただければ幸いです。

平成19年1月

大東市産業振興ビジョン策定委員会・ワーキングチーム

第1章 地域産業の現状

1. 地勢的特徴



(1) 人口

人口は平成 17 年を境に減少傾向から増に反転、世帯数は引き続き増加傾向

(図表 1-1-1) 世帯数と人口

年	世帯数	人 口		
		総 数	男	女
平成 16	50,348	126,267	62,790	63,477
平成 17	52,629	129,063	64,228	64,835
平成 18	53,403	129,436	64,307	65,129

市民課調べ 各年4月1日

(図表 1-1-2) 昼間人口と夜間人口

年	昼間人口	夜間人口	通勤・通学		流 出 入 超 過 人 口
			流入	流出	
平成 2	123,173	125,453	36,561	38,841	2,280
7	126,785	128,665	38,896	40,776	1,880
12	130,564	128,832	39,604	37,872	1,732

広報広聴課調べ(国勢調査による)各年10月1日

(図表 1-1-3) 近隣市人口推移表(各年10月1日現在)

単位(人)

市	平成 10	平成 11	平成 12	平成 13	平成 14	平成 15	平成 16	平成 17	H10～17の増減率
北河内	1,211,276	1,206,842	1,202,287	1,199,417	1,196,415	1,194,094	1,190,787	1,186,442	-2.1%
守口市	154,546	153,370	152,298	151,341	149,977	148,927	148,103	147,479	-4.6%
枚方市	403,993	403,616	402,563	403,099	403,734	404,348	404,715	404,004	0.0%
寝屋川市	254,298	251,991	250,806	248,964	247,590	246,044	244,144	241,825	-4.9%
大東市	130,834	129,962	128,917	128,445	127,772	127,406	126,459	126,478	-3.3%
門真市	137,853	137,007	135,648	134,731	133,787	133,386	132,728	131,674	-4.5%
四條畷市	54,584	55,245	55,136	55,695	56,305	56,823	57,374	57,339	5.0%
交野市	75,168	75,651	76,919	77,142	77,250	77,160	77,264	77,643	3.3%
東大阪市	516,303	515,702	515,094	515,151	514,723	514,370	514,731	513,744	-0.5%
八尾市	276,169	275,627	274,777	274,805	274,627	273,866	273,552	273,474	-1.0%

出所:大阪府統計年鑑

人口の移動は隣接区域が中心

《図表 1-1-4》人口移動地ベスト5(1995年)

転入				転出			
男(人)		女(人)		男(人)		女(人)	
東大阪市	429	東大阪市	363	東大阪市	541	東大阪市	524
門真市	179	門真市	183	四條畷市	221	四條畷市	208
四條畷市	172	寝屋川市	153	寝屋川市	178	寝屋川市	152
寝屋川市	136	四條畷市	141	門真市	162	門真市	143
鶴見区	111	鶴見区	132	枚方市	143	枚方市	134

《図表 1-1-5》人口移動地ベスト5(2004年)

転入				転出			
男(人)		女(人)		男(人)		女(人)	
東大阪市	370	東大阪市	328	東大阪市	439	東大阪市	437
四條畷市	168	四條畷市	174	四條畷市	218	四條畷市	217
門真市	138	門真市	150	鶴見区	127	門真市	124
寝屋川市	115	枚方市	99	門真市	107	鶴見区	116
鶴見区	84	寝屋川市	96	寝屋川市	78	寝屋川市	105



《図表 1-1-6》10歳階級別転入・転出人口推移

	1995		1996		1997		1998		1999		2000		2001		2002		2003		2004	
	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出
10未満	659	767	675	818	678	775	624	711	487	815	517	783	523	760	430	628	514	680	454	583
10歳代	372	391	328	417	341	367	342	368	279	363	266	320	289	316	260	296	250	293	248	287
20歳代	2,100	2,228	2,137	2,305	2,042	2,196	1,985	2,160	1,635	2,137	1,668	1,959	1,767	1,884	1,458	1,659	1,467	1,525	1,265	1,357
30歳代	804	925	1,019	1,085	1,004	1,035	905	995	719	1,137	776	1,167	973	1,228	889	1,155	1,028	1,239	991	1,223
40歳代	368	443	381	513	455	426	366	424	279	405	276	396	320	396	268	340	285	326	281	363
50歳代	302	388	266	350	365	359	332	391	266	405	299	372	315	377	285	339	310	358	242	323
60歳代	165	182	163	207	154	191	179	196	123	214	150	228	186	205	194	193	185	211	188	186
70歳代	94	95	78	80	73	82	75	93	77	88	74	106	76	117	84	89	69	105	86	119
80歳代	68	45	52	44	27	35	36	47	43	39	38	58	56	49	40	41	38	41	41	61

住民基本台帳より

20 歳代と 45~54 歳が減少し、55 歳以上が増加

(図表 1-1-7) 大東市年代別人口の増減(各年10月)

年齢区分	平成10年	平成18年	増減率
0～4歳	7,356	6,279	-14.6%
5～9	6,549	6,842	4.5%
10～14	6,781	6,506	-4.1%
15～19	7,825	6,393	-18.3%
20～24	11,727	7,927	-32.4%
25～29	12,658	9,158	-27.7%
30～34	10,126	11,564	14.2%
35～39	7,382	10,636	44.1%
40～44	7,216	8,347	15.7%
45～49	11,019	6,546	-40.6%
50～54	10,426	7,703	-26.1%
55～59	10,010	11,188	11.8%
60～64	7,496	9,271	23.7%
65～69	5,258	8,037	52.9%
70～74	3,456	5,658	63.7%
75～79	2,289	3,583	56.5%
80～84	1,545	2,032	31.5%
85～89	862	1,127	30.7%
90～94	239	508	112.6%
95～99	52	118	126.9%
100歳以上	3	13	333.3%
合計	130,275	129,436	-0.6%

大東市統計書および大東市 HP より作成

2030 年には若手労働力が激減

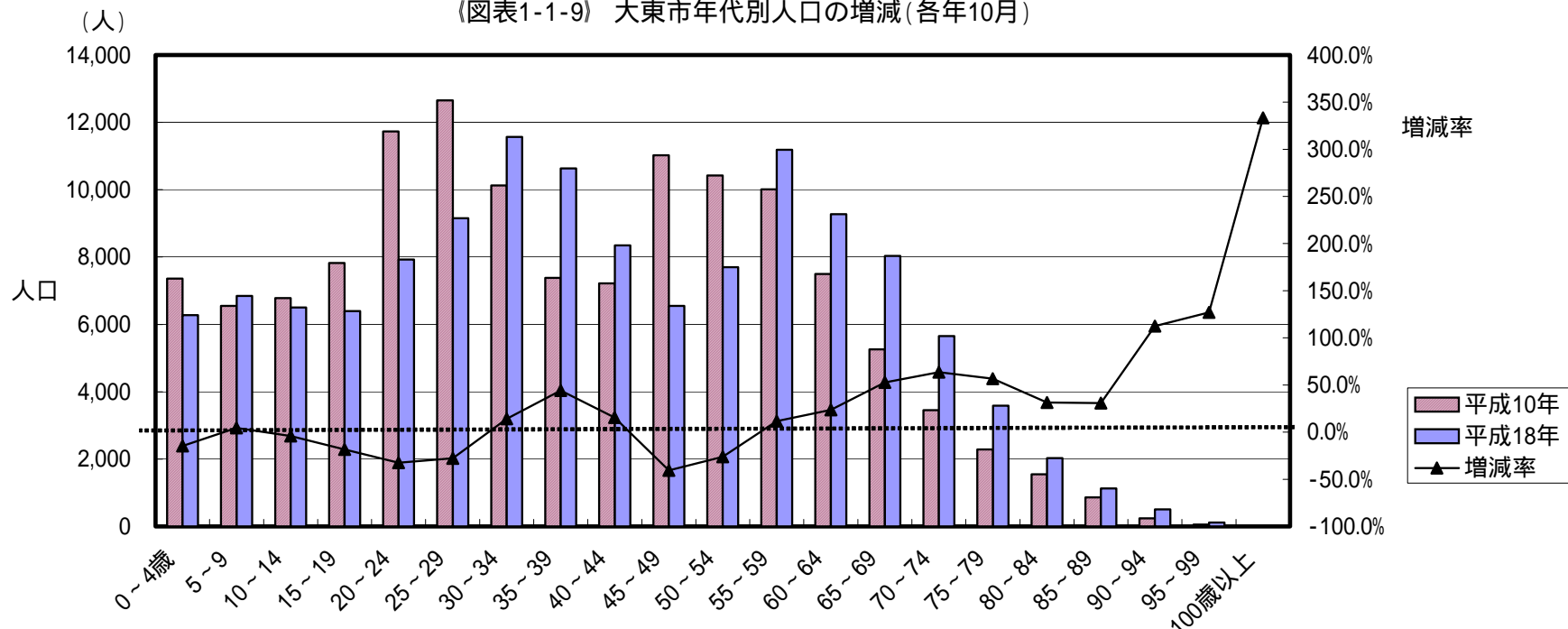
(図表 1-1-8) 人口予測に基づく 2000 年/2030 年労働力人口対比

年齢階級	15才以上人口		労働力比率	労働力人口		増減率
	2000年 国勢調査	2030年 (予測)	2000年 国勢調査	2000年	2030年	
15～19	7,583	5,145	18.9	1,430	972	-32.0%
20～24	9,901	6,110	66.0	6,534	4,033	-38.3%
25～29	11,817	6,498	78.4	9,265	5,094	-45.0%
30～34	10,482	6,684	73.7	7,723	4,926	-36.2%
35～39	8,372	6,331	74.2	6,209	4,698	-24.3%
40～44	6,557	6,167	78.5	5,144	4,841	-5.9%
45～49	8,217	6,626	77.2	6,343	5,115	-19.4%
50～54	11,183	7,409	76.3	8,530	5,653	-33.7%
55～59	10,300	9,307	71.3	7,347	6,636	-9.7%
60～64	8,415	8,277	49.7	4,186	4,114	-1.7%
65～69	5,996	6,573	29.5	1,770	1,939	9.6%
70～74	4,109	4,761	15.7	645	747	15.9%
75～79	2,593	5,363	9.4	245	504	105.8%
80～84	1,721	6,271	4.6	80	288	260.6%
85以上	1,485	6,561	2.8	41	184	348.1%
計	108,731	98,083	60.2	65,456	59,046	-9.8%

2000年の労働力人口比率を2030年に適用し2030年の労働力を算出した
 2030年データは国立社会保障・人口問題研究所による
 2030年労働力人口計算式() = ×

20代、30代の流動性が高い傾向

(図表1-1-9) 大東市年代別人口の増減(各年10月)

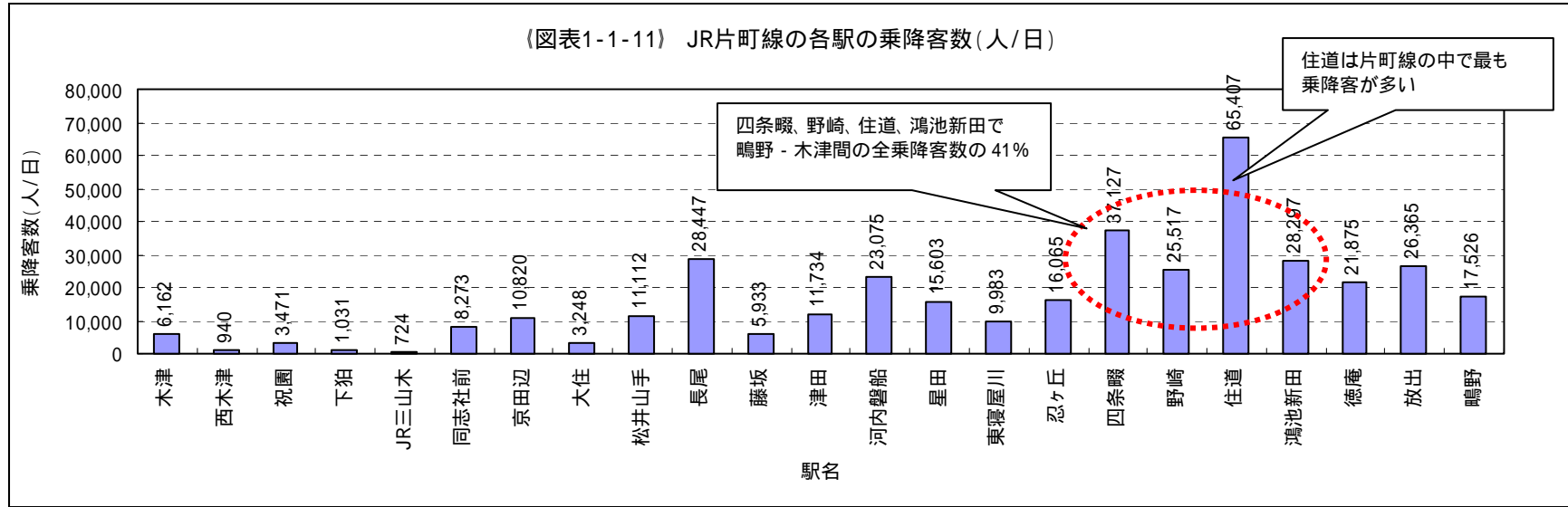


(図表 1-1-10) 年代別人口に占める転入・転出率(2004年)

年代	転入数		転出数		総移動率	総人口
	人数	割合	人数	割合		
10歳未満	454	3.41%	583	4.38%	7.79%	13320
10歳代	248	1.94%	287	2.24%	4.18%	12784
20歳代	1265	7.04%	1357	7.56%	14.60%	17956
30歳代	991	4.55%	1223	5.62%	10.17%	21779
40歳代	281	1.98%	363	2.55%	4.53%	14226
50歳代	242	1.26%	323	1.68%	2.94%	19220
60歳代	188	1.06%	186	1.05%	2.12%	17656
70歳代	86	1.04%	119	1.44%	2.47%	8290
80歳代	41	1.40%	61	2.09%	3.49%	2925

(2) 交通

鉄道の利用が多い大東市 鳴野 - 木津間の乗降客数の4割を超す



(図表 1-1-12) 各駅の「普通乗車券」及び「定期券」利用客数
(乗降客数(H15年度):人/日)

	「普通乗車券」 利用客	「定期券」 利用客	全乗降客数	「普通乗車券」 利用客の割合 (%)
大阪	372,426	481,659	854,086	43.6
吹田	17,875	27,508	45,383	39.4
同志社前	1,104	7,170	8,273	13.3
長尾	5,756	22,692	28,447	20.2
四条畷	9,996	27,130	37,127	26.9
野崎	7,033	18,484	25,517	27.6
住道	19,899	45,508	65,407	30.4
鴻池新田	8,984	19,312	28,297	31.8

普通乗車券の利用が多いところは集客力が高いといえる。
大東市は大阪、吹田に比べると低いですが、ビジネス・商業・教育の集積をもつため、長尾、同志社前といった住宅地より割合が高い。
なお鴻池新田は史跡のほか高校・大学の模擬試験会場になる高校が近い。

乗降客数が増えている住道、他はピークより減傾向

(図表 1-1-13)

大東市エリア各駅の日当たり乗降客数の推移

(乗降客数:人/日)

	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15
四条畷	39,122	38,952	39,158	38,819	38,009	37,433	36,931	37,124	36,563	37,127
野崎	27,940	28,456	29,260	28,675	28,173	27,618	27,388	27,040	25,974	25,517
住道	52,171	54,051	55,420	56,671	57,457	58,480	59,096	60,259	60,819	65,407
鴻池新田	32,984	32,931	33,179	32,103	30,679	30,055	29,909	29,263	28,219	28,297
4 駅の平均	38,054	38,598	39,254	39,067	38,580	38,396	38,331	38,422	37,894	39,087

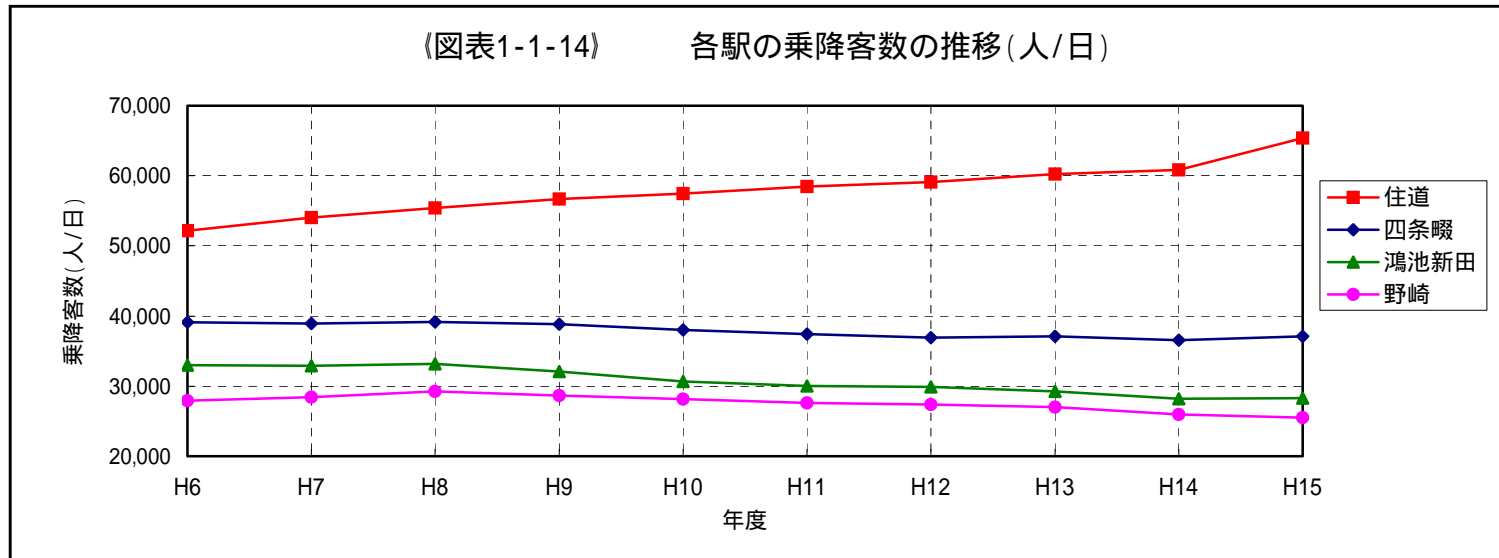
(平成 8 年度～平成 17 年度 都市交通年報 (財)運輸政策研究機構 による)

JR 西日本では、乗降客数ではなく乗客数を集計しているため、便宜上、乗客数を 2 倍した値を乗降客数として示している。

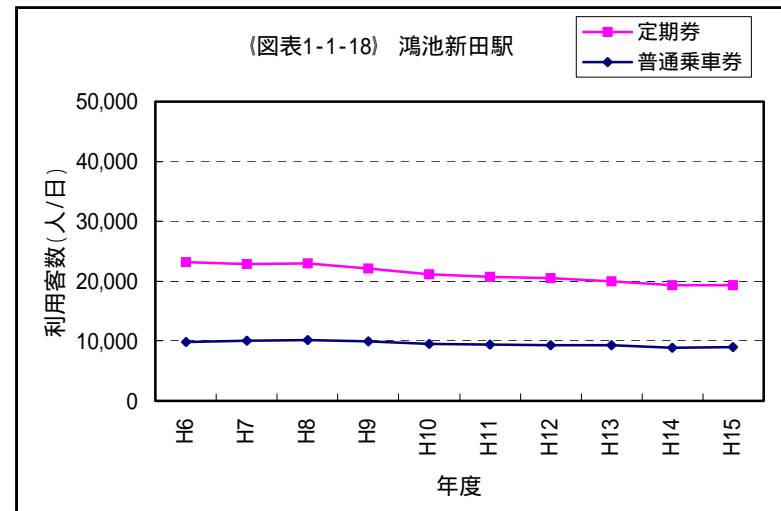
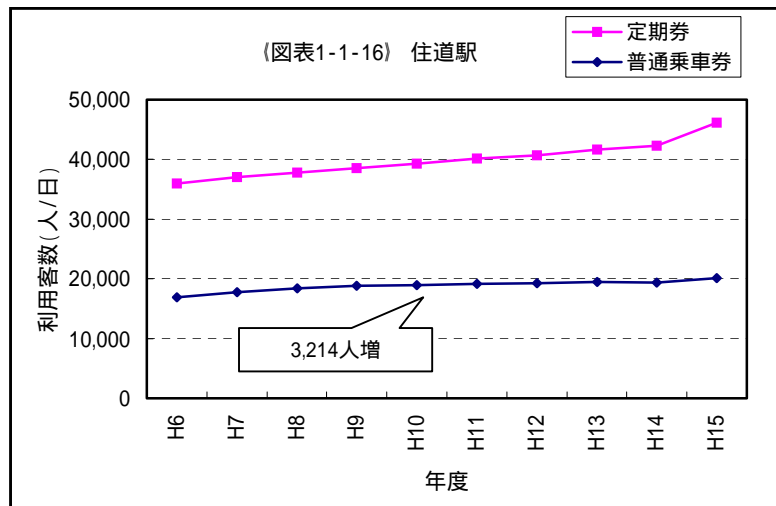
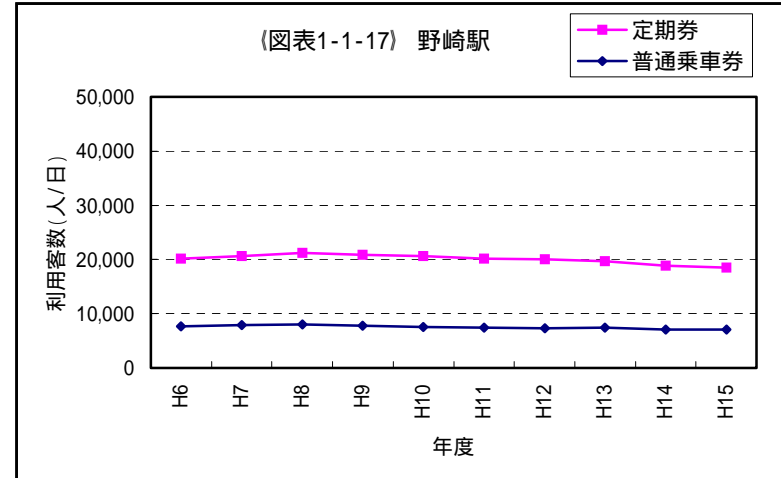
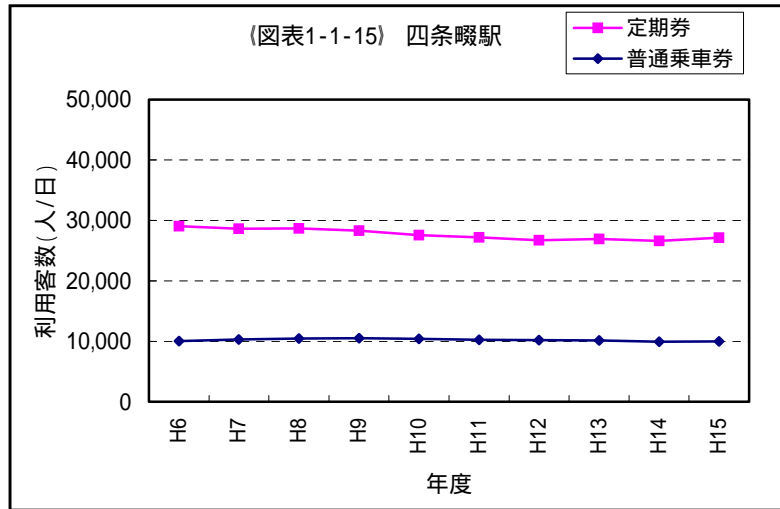
1 日あたりの乗降客数は、各年度の平均値を示した。

(図表 1-1-14)

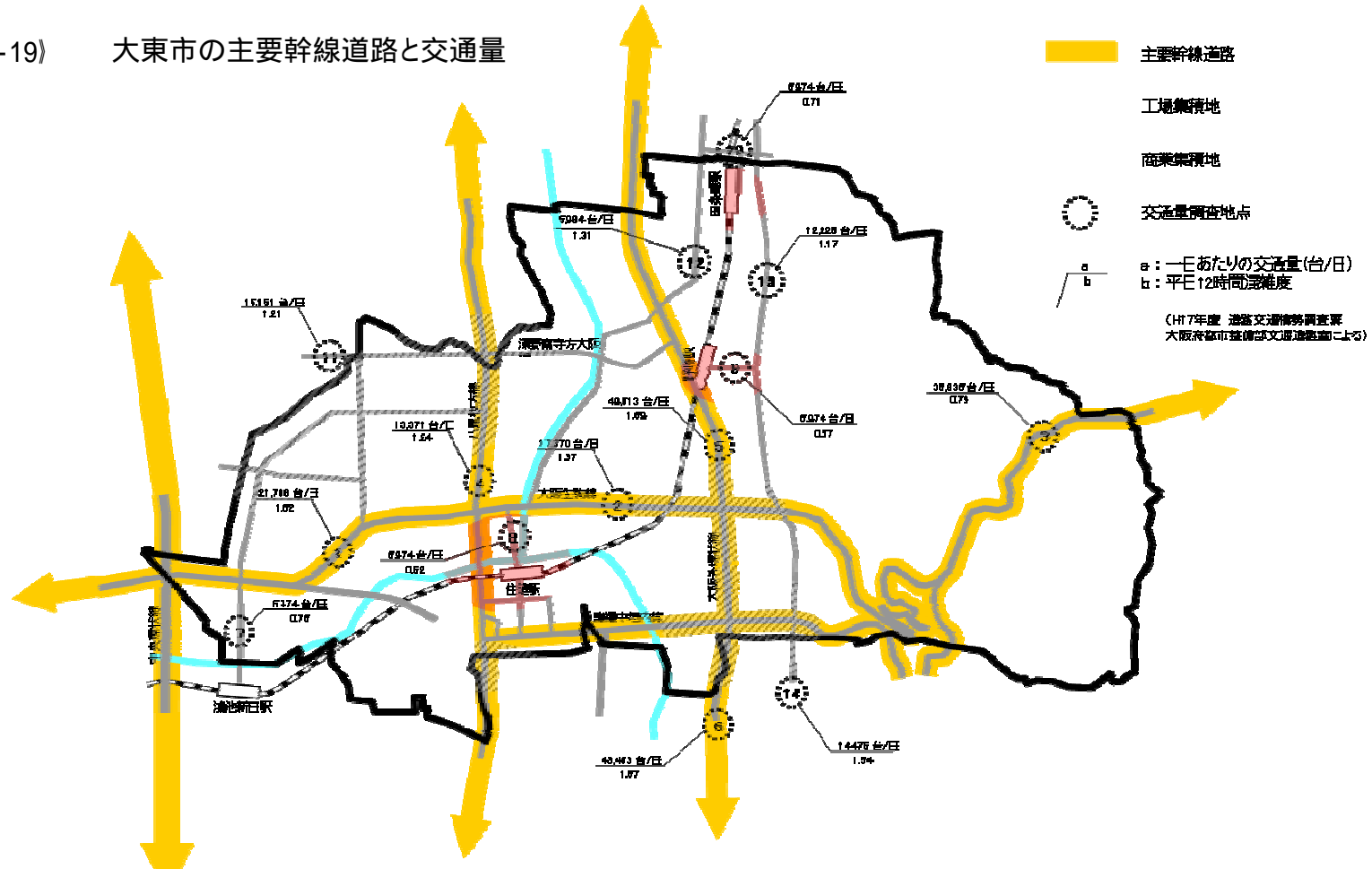
各駅の乗降客数の推移(人/日)



乗降客数の増減には定期利用者が影響



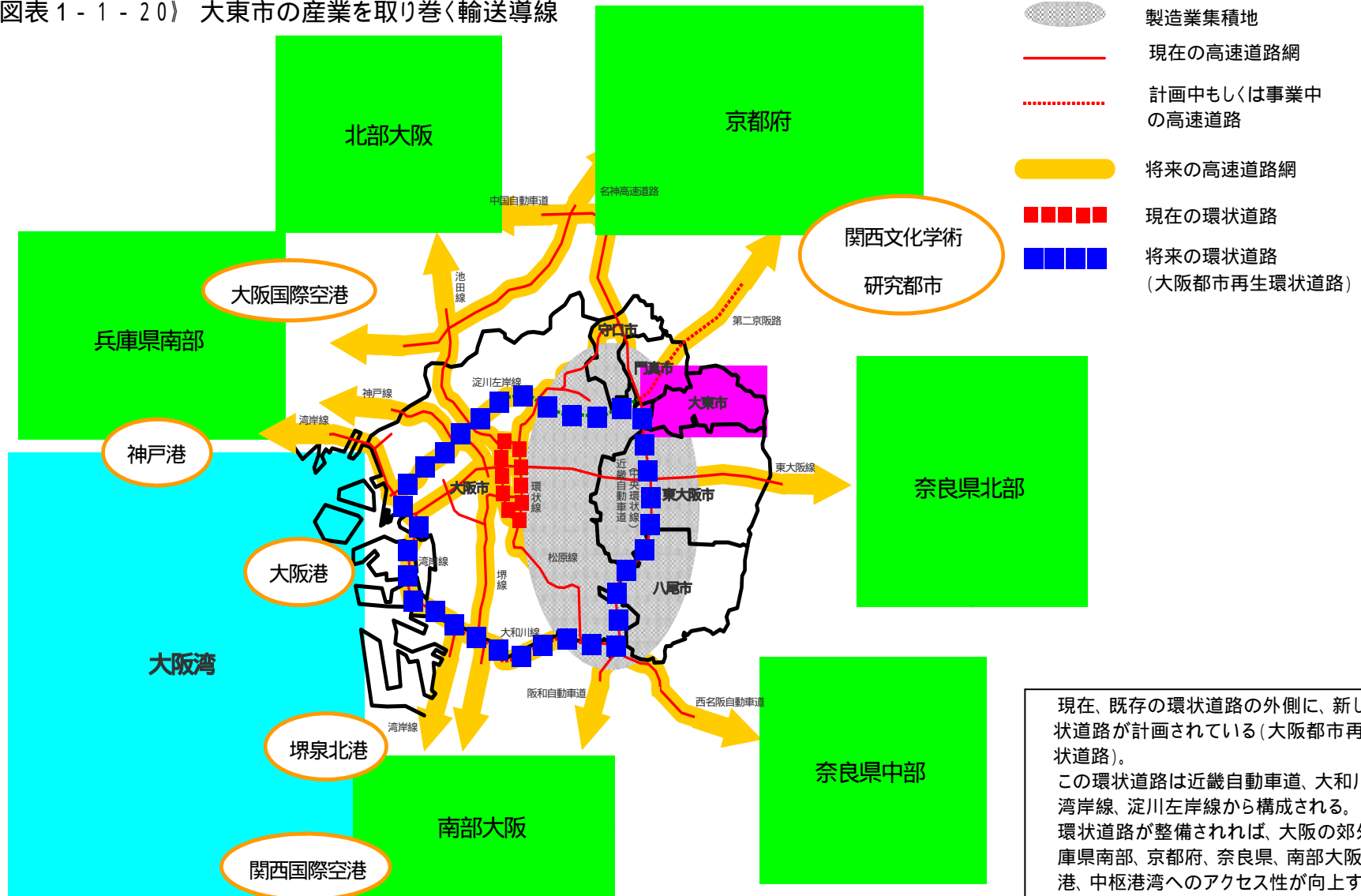
《図表 1-1-19》 大東市の主要幹線道路と交通量



混雑度・・・12時間あたりの交通容量に対する実交通量

混雑度	1.00 未満	1.00 以上～1.25 未満	1.25 以上～1.75 未満	1.75 以上
交通状況の推定	昼間 12 時間を通じて、道路が混雑することなく円滑に走行できる。渋滞やそれに伴う極端な遅れはほとんどないと考えられる。	昼間 12 時間のうち、道路が混雑する可能性のある時間帯が 1～2 時間(ピーク時)ある。何時間も混雑が連続するという可能性は非常に小さいと考えられる。	ピーク時間帯はもとより、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性が高い状態。ピーク時のみの混雑から、日中の連続的混雑への過度状態と考えられる。	慢性的混雑状態と考えられる。

〔図表 1 - 1 - 20〕 大東市の産業を取り巻く輸送導線



(3) 地価

利便性が高く近隣より安い地価

《図表 1-1-21》 近隣地域の1㎡あたり地価(平成14年)

単位:千円/1㎡

		大東市	東大阪市	生野区	鶴見区	守口市	門真市
第1種住居地域	地価公示	168 (南郷町)	210 (吉田)	251 (巽中)	306 (横堤)	222 (大庭町)	192 (北島町)
	地価調査	194 (幸町)	201 (吉田)	242 (巽西)	297 (横堤)	-	194 (北島町)
第1種中高層住居専用地域	地価公示	141 (三箇)	210 (花園本町)	-	-	-	-
	地価調査	159 (三箇)	212 (花園西町)	-	-	-	-
第2種中高層住居専用地域	地価公示	163 (灰塚)	-	-	287 (諸口)	225 (藤田町)	233 (上野口町)
	地価調査	162 (灰塚)	204 (吉田下島)	-	249 (茨田大宮)	213 (藤田町)	221 (上野口町)
準工業地域	地価公示	137 (野崎)	171 (御厨)	244 (中川)	294 (鶴見4)	213 (大日東町)	175 (東田町)
	地価調査	140 (御領)	155 (菱江)	255 (巽東)	250 (今津南)	185 (梶町)	140 (岸和田)
工業地域	地価公示	139 (新田北町)	167 (高井田中)	-	194 (今津北)	-	-
	地価調査	-	165 (高井田中)	-	195 (鶴見1)	-	-

*「地価公示」H14年1月現在 *「地価調査」平成14年7月現在

出所:「地価マップ 大阪府」(編集/(財)土地情報センター)より